

健康へのメッセージ

シリーズ 121

住民検診について

光町のみなさんこんにちは。今回は今年度に行われた住民検診についてお話しします。

受診された方には既に結果が届いていると思います。基本健康診査、胃癌検診、大腸癌検診、乳ガン検診、結核検診などが行われたと思います。改めてその結果を思い出してください。何も問題のない人は結構ですが、ほとんどの方は何らかの異常が指摘されていると思います。放置していても心配ないものと、至急に精密検査や治療が必要な場合があります。例えば、体重が多い、血圧が少し高い、コレステロールが少し高い、血糖値が少し高い様な場合には生活習慣病の大半に通じる日常生活の改善や飲酒、喫煙の習慣などを改めるだけで翌年の検診まで待てると思います。

血圧が高いといわれた方は、再検査をしてください。わざわざ病院に来なくても保健センターなどで自己血圧測定が出来ます。ただし、センターに着いてから15分以上してからの血圧測定をしてください。急いで測定すると高くなる傾向があります。頭が痛い、胸が苦しい、なにか変だという症状を伴うときには至急病院を受診してください。



東陽病院 院長 伊藤 文憲

糖尿病・高脂血症・痛風・動脈硬化などを指摘された場合には、朝ご飯を食べないで受診してください。これらの検査の値は食事の摂取により変動が激しく、正確な情報が得ら

れません。なお健診の中には、昼ご飯を食べて午後採血をして数値が高いという機関もあります。問題外です。

しかし、癌検診などでは疑い例はすぐに精密検査を行い結果をはっきりとしなくてはなりません。例えば大腸の検診として便の中の血液をチェックした時に陽性反応が出る場合があります。以前は潜血反応は人以外の魚や動物の肉などの血液にも反応していましたが、最近では免疫学的な方法で測定していますので、人の血液にしか反応しません。痔を含めて何らかの出血が大腸内部で起きているわけですから、精密検査が必要です。胃癌に関しては胃潰瘍や十二指腸潰瘍が治癒した場合には必ず組織にひきつれを生じるために、胃X線検査では変形ありと診断されて再検査の指示が出ます。このような場合には、バリウムを飲む検査をしないで直接胃内の視鏡検査をすることが早道です。再発の有無や早期胃癌の発見には胃内視鏡検査が優れているからです。

最近話題になっている検診に乳ガン検診があります。乳ガンを専門にしている医師による検診が行われているとの報道もあります。自己による乳ガンチェックも含めて疑いのある場合には専門医を受診することが必要です。東陽病院には外科の前田副院長以下乳ガンの専門の医師がおりますので受診してください。くれぐれも検診は自分のためであることをお忘れなく。

※東陽病院の休日当番日

12月31日(水)・1月4日(日)・25日(日)

午前8時30分～午後6時

医師2名が待機・来院の際は電話を ☎ 1335

おはなし会

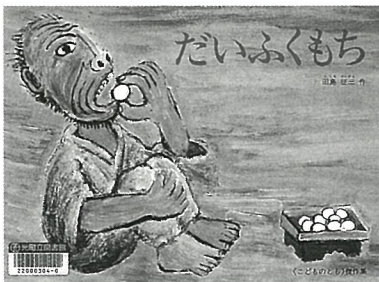
毎週土曜日・午後2時から



ほんの

森

＝町立図書館＝
☎ 3311



『だいふくもち』

田島 征三 作 (福音館書店)

むかし、ごさくという怠け者の家の床下から不思議なだいふくもちが出てきて大金持ちになるが、欲張った結果この世から消えてしまう。

この他にもちよっとふしぎなお話や昔話などを紹介します。

特別整理期間のお知らせ

1月26日(月)～30日(金)

館内資料の整理点検作業のため休館します。本を返却する場合は、返却ポストをご利用ください。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

休館日

12月29日(月)～1月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)～30日(金)、2月2日(月)